

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

学校名	専門学校 琉球リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 智晴学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
リハビリテーション課程	金武町 作業療法学科	昼	95 単位 2925 時間	127 単位 3375 時間	
	金武町 作業療法学科	夜	95 単位 2925 時間	127 単位 3375 時間	
	金武町 理学療法学科	昼	109 単位 2835 時間	129 単位 3135 時間	
3年のみ在籍	金武町 理学療法学科	夜	25 単位 945 時間	25 単位 945 時間	
1・2年のみ在学中	那覇 理学療法学科	昼	82 単位 1005 時間	129 単位 2730 時間	
1・2年のみ在学中	那覇 理学療法学科	夜	82 単位 1005 時間	129 単位 2730 時間	
	メディカルスポーツ柔道整復学科	昼	93 単位 2235 時間	129 単位 2775 時間	
こどもリハビリテーション学科	こどもリハビリテーションコース	昼	62 単位 1110 時間	84 単位 1320 時間	
	こどもリハビリテーションコース専攻科	昼	実積なし	22 単位 800 時間	
	海洋リハビリテーションコース	夜	72 単位 1995 時間	80 単位 2115 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学院ホームページ公開情報に記載

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)
なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

学校名	専門学校 琉球リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 智晴学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学院ホームページ情報公開に記載

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期3年間	担当する職務内容や期待する役割
田中 真純	株式会社らそうむ代表取締役 (兼学校法人評議員)	令和3年4月1日～ 令和6年3月31日	副理事長
原 浩之	株式会社白寿生科学研究所	令和3年4月1日～ 令和6年3月31日	—
権田 憲士	医療法人陽心会大道中央病院	令和3年4月1日～ 令和6年3月31日	—
大本 研二	学校法人こおりやま 東都学園代表理事	令和3年4月1日～ 令和6年3月31日	—

学校法人智晴学園役員名簿（理事・監事）

2021年6月30日現在

役職名	氏名	備考	学外者
理事長	儀間 智	(兼学校法人評議員)	
副理事長	田中 真澄	株式会社らそうむ 代表取締役 (兼学校法人評議員)	○
理事	原 浩之	株式会社白寿生科学研究所	○
理事	権田 憲士	医療法人陽心会大道中央病院	○
理事	儀間 市子	(兼学校法人評議員)	
監事	翁長 秀樹	有限会社翁長電機工事 代表取締役	○
監事	山川 宗仁	金武こどもみらい園 園長	○

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 琉球リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 智晴学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 各学科において、すべての科目のシラバスを年度開始前に作成している。同シラバスには、授業の方法、内容、目標、評価方法等を記載している。シラバスは、ホームページで公表をしている。	
授業計画書の公表方法	入学時・進級時オリエンテーション、ホームページ公表
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等の学習支援を実施している。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習報告及平素の実習成績に基づく実習先の指導者による評価を含め総合的に判定する。評価は、満点を100点として、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	授業科目毎の成績評価を100点満点に換算した上で、取得点数の平均を求める仕組み等を導入している。
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 理学療法学科、作業療法学科、メディカル柔道整復学科において3年、子どもリハビリテーション学科では2年以上在学し、本学院の定める学生納付金を全額納付し、かつ所定の授業科目の単位を修得した学生について、教務会議の議を経て学院長が卒業を認定する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	授業科目の成績評価に基づき、課程修了の認定を行う。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 琉球リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 智晴学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて、情報公開
収支計算書又は損益計算書	http://www.ryukyu.ac.jp/
財産目録	http://www.ryukyu.ac.jp/
事業報告書	http://www.ryukyu.ac.jp/
監事による監査報告（書）	http://www.ryukyu.ac.jp/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報 理学療法学科 昼間課程

分野		課程名	学科名	専門士			高度専門士	
医療		医療専門課程	理学療法学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	那覇校 129 単位 2730 時間	109 単位		20 単位			
		金武校 129 単位 2735 時間						
生徒総定員 数		生徒実員 数	うち留学生 数	専任教員数	兼任教員数	総教員 数		
260 人		228 人	0 人	11 人	8 人	19 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）シラバスを年度開始前に作成。授業方法、内容、目標、評価方法を説明。
成績評価の基準・方法
（概要）授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習報告及び平素の実習先の指導者による評価を含め総合的に判定する。評価は、満点を100点として、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、ABCを合格としDを不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。
卒業・進級の認定基準
（概要）3年以上在学し、本学院の定める学生納付金等を全額納付し、かつ所定の授業科目の単位を取得した学生について、教務会議の議を経て学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
50 人 (100%)	0 人 (0%)	50 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 病院、福祉施設			
（就職指導内容） 学内にキャリア支援室を設け、マナー講座、履歴書添削、面接指導等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士、保育士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
211 人	7 人	0, 3%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学資支援委員会を設置しえ、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期に相談及び個別指導等の学習支援を実施している。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報 理学療法学科 夜間課程

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
医療		医療専門課程	理学療法士	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演 習	実習	実験
3年	夜	那覇校 129 単位	109 単位		20 単位	
生徒総定員 数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人		56 人	0 人	8 人	11 人	19 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要）シラバスを年度開始前に作成。授業方法、内容、目標、評価方法を説明。			
成績評価の基準・方法			
（概要）授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習報告及び平素の実習先の指導者による評価を含め総合的に判定する。評価は、満点を100点として、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、ABCを合格としDを不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。			
卒業・進級の認定基準			
（概要）3年以上在学し、本学院の定める学生納付金等を全額納付し、かつ所定の授業科目の単位を取得した学生について、教務会議の議を経て学院長が卒業を認定する。			
学修支援等			
（概要）学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等の学習支援を実施している。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 (100%)	0 人 (0%)	9 人 (69%)	4 人 (31%)
（主な就職、業界等）病院。福祉施設			
（就職指導内容）			
学内にキャリア支援室を設け、マナー講座、履歴書、添削面接指導等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等））理学療法士、保育士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組）学習支援委員会で早期に相談、個別指導。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報 作業療法学科 昼間課程

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	作業療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	123 単位	123 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		62人	0人	6人	3人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）シラバスを年度開始前に作成。授業方法、内容、目標、評価方法を説明。
成績評価の基準・方法
（概要）授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習報告及び平素の実習先の指導者による評価を含め総合的に判定する。評価は、満点を100点として、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、ABCを合格としDを不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。
卒業・進級の認定基準
（概要）3年以上在学し、本学院の定める学生納付金等を全額納付し、かつ所定の授業科目の単位を取得した学生について、教務会議の議を経て学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等の学習支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (100%)	0人 (0%)	21人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）病院、福祉施設			
（就職指導内容）学内にキャリア支援室を設け、マナー講座、履歴書、添削面接指導等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等））作業療法士・保育士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	0人	0%
（中途退学の主な理由）学習支援委員会、個別対応で、退学者なし		
（中退防止・中退者支援のための取組）学習支援委員会で、早期に相談、個別指導。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報 作業療法学科 夜間課程

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
医療		医療専門課程	作業療法学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	夜	123 単位	103 単位		20 単位	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人		37 人	0 人	4 人	6 人	10 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）シラバスを年度開始前に作成。授業方法、内容、目標、評価方法を説明。
成績評価の基準・方法
（概要）授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習報告及び平素の実習先の指導者による評価を含め総合的に判定する。評価は、満点を100点として、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、ABCを合格としDを不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。
卒業・進級の認定基準
（概要）3年以上在学し、本学院の定める学生納付金等を全額納付し、かつ所定の授業科目の単位を取得した学生について、教務会議の議を経て学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等の学習支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26 人 (100%)	0 人 (0%)	26 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等）病院、福祉施設			
（就職指導内容）学内のキャリア支援室を設け、マナー講座、履歴書添削、面接指導等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等））作業療法士、保育士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由） 学習支援委員会で個別相談を実施。		
中退防止・中退者支援のための取組） 対策を生じて、中退者なし。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報 メディカルスポーツ柔道整復学科

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	メディカル柔道整復学科	○				
修業年限	昼夜 昼	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
		129 単位	講義	演習	実習	実験	実技
3年			119 単位				10 単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90 人	54 人	0 人	6 人	9 人	15 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）各学科においては、すべての科目のシラバスを年度開始前に作成している。
成績評価の基準・方法
（概要）授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習報告及び平素の実習先の指導者による評価を含め総合的に判定する。評価は、満点を100点として、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、ABCを合格としDを不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。
卒業・進級の認定基準
（概要）3年以上在学し、本学院の定める学生納付金等を全額納付し、かつ所定の授業科目の単位を取得した学生について、教務会議の議を経て学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等の学習支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9 人 (100%)	0 人 (0%)	9 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等）接骨院、福祉施設			
（就職指導内容）学内キャリア支援室を設け、マナー講座、履歴書添削、面接指導等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等））柔道整復師、日本スポーツリハビリテーション学会認定トレーナー			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44 人	5 人	11, 3%
（中途退学の主な理由）進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組）学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等の学習支援を実施している。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報 こどもリハビリテーション学科 こりハコース

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
福祉		教育・社会福祉専門課程	こりハコース	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
1年	昼	80単位	60単位			20単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人		27人	0人	2人	2人	4人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）各学科においては、すべての科目のシラバスを年度開始前に作成している。
成績評価の基準・方法
（概要）授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習報告及び平素の実習先の指導者による評価を含め総合的に判定する。評価は、満点を100点として、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、ABCを合格としDを不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。
卒業・進級の認定基準
（概要）3年以上在学し、本学院の定める学生納付金等を全額納付し、かつ所定の授業科目の単位を取得した学生について、教務会議の議を経て学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等の学習支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人(0%)	0人(0%)	0人(0%)	0人(0%)
(主な就職、業界等) 卒業生0名			
(就職指導内容) なし			
(主な学修成果(資格・検定等)) 保育士			
(備考)(任意記載事項)			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	
5人	0人	0%	
(中途退学の主な理由) なし			
(中退防止・中退者支援のための取組) なし			

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報 こどもリハビリテーション学科 海洋コース

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士				
福祉	教育・社会福祉専門課程	海洋コース						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
			51 単位					29 単位
2 年	昼	80 単位						
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
40 人	22 人	0 人	2 人	2 人	4 人			

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）各学科においては、すべての科目のシラバスを年度開始前に作成している。
成績評価の基準・方法
（概要）授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習報告及び平素の実習先の指導者による評価を含め総合的に判定する。評価は、満点を 100 点として、80 点以上を A、70 点以上を B、60 点以上を C、60 点未満を D と表記し、ABC を合格とし D を不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。
卒業・進級の認定基準
（概要）3 年以上在学し、本学院の定める学生納付金等を全額納付し、かつ所定の授業科目の単位を取得した学生について、教務会議の議を経て学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等の学習支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等）ホテル、マリン関連施設、ダイビングショップ予定			
（就職指導内容）学内キャリア支援室を設け、マナー講座、履歴書添削、面接指導等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等））ダイビングライセンス、特殊小型船舶、潜水士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）なし		
（中退防止・中退者支援のための取組）学習支援委員会で個別指導。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報 こどもリハビリテーション学科 専攻科コース 令和4年度より在籍者予定

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
福祉		教育・社会福祉専門課程	こりハコース	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
1年	昼	22単位	22単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
40人	0人	0人	0人	0人	0人			

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）各学科においては、すべての科目のシラバスを年度開始前に作成している。
成績評価の基準・方法
（概要）授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習報告及び平素の実習先の指導者による評価を含め総合的に判定する。評価は、満点を100点として、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、ABCを合格としDを不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。
卒業・進級の認定基準
（概要）2年課程終了後、本学院の定める学生納付金等を全額納付し、かつ所定の授業科目の単位を取得した学生について、教務会議の議を経て学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等の学習支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人(0%)	0人(0%)	0人(0%)	0人(0%)
(主な就職、業界等) 卒業生0名			
(就職指導内容) なし			
(主な学修成果(資格・検定等)) 保育士			
(備考)(任意記載事項)			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	
0人	0人	0%	
(中途退学の主な理由) なし			
(中退防止・中退者支援のための取組) なし			

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記 載事項)
理学療法学科 昼間	150,000 円	1,000,000 円	450,000 円	
理学療法学科 夜間	150,000 円	900,000 円	450,000 円	
業療法学科 昼間	150,000 円	1,000,000 円	450,000 円	
作業療法学科 夜間	150,000 円	900,000 円	450,000 円	
メディカル柔道 整復学科	150,000 円	900,000 円	450,000 円	
こりハコース	100,000 円	500,000 円	100,000 円	
海洋コース	100,000 円	600,000 円	230,000	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ : http://www.ryukyu.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 地域関係者や教育関係者等による学校関係者評価委員会を設立し、教育課程や進路指導等に関して学院が行う自己評価を行い、自己評価結果の客観性、透明性を高め、学校運営の改善のための助言を得る事。尚、委員との学校関係者評価委員会を行う。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
沖縄県専修学校各種学校協会	2019年9月～2年	専修学校団体
KIN スポーツ・整形クリニック	2019年9月～2年	地域関係者
卒業生同窓会	2019年9月～2年	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ http://www.ryukyu.ac.jp		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ http://www.ryukyu.ac.jp
